

ねそ

白川郷荻町集落の自然環境を守る会 発行 平成26年2月号

第9回世界遺産白川郷五箇山三村交流会開催～その2～！！

前号からの続きです！！……………

◎3集落からの報告・意見交流

西村：次に各保存会長より、現状報告を。

荻町(和田)：住民憲章を基盤に置きながら「守る・くらす・つなく」の活動スローガンを掲げて取り組みを進めている。定例会での慎重な審議、旧寺口家の屋根葺きでは結の継承、次代へつなぐ取り組みを意識して行っている。また、交通対策委員会に参画し、26年4月からの観光車両自主規制の実施にむけた取り組みに力を入れてきた。

相倉(山崎)：茅場の管理と収穫、現状変更申請要望書を寄合で対応してきた。インターネットによる空き家の売却が世間を騒がせたが、購入者が保存に理解のある方で一安心。マスタープランが完成。その中の課題の1つである空き家の活用で「住まんまい家プロジェクト」を立ち上げた。世界遺産20周年にむけ、鉄筋のふるさとセンターを取り壊し茅の保管庫や資材置き場にしたい。

菅沼(中島)：県中山間チャレンジ事業で茅場の造成に努めている。また、企業CSR活動でネクスコ中日本高速さんがボランティアで茅場の下草刈りや収穫、造成のお手伝いを。その他に筑波大・富山県立大・大東文化大等の学生が住民と交流しながら支援を。集落外ではあるが、高速道路法面への茅場造成、合掌の森再生委員会による古茅の活用といった取り組みも盛り上がりを見せている。

西村：荻町の交通対策は、大変よい方向へと進んでいるが。

和田：平成24年の大寄合で、自主規制にむけた住民の同意がなされた。ここに至ったのも交通社会実験を始めとする諸先輩方の継続的な努力、行政との連携や有識者の支援、たゆまぬ住民の話し合いがあったからこそ。結論を出すまでには年月を必要としたが、つなぎ続けた結果が大寄合での住民の決断であった。感謝し着実に実現できるよう責任を持ちたい。

西村：相倉の「住まんまい家プロジェクト」について説明を。

山崎：空き家の居住希望者をインターネットで公募。54組の応募があり、選考委員会で10組選考。住民との交流や住民の意見を取り入れながら1組を決定した。それ以外にも3家族が集落外に滞在し生活することに。人口増や子どもたちの存在が、集落の活性化につながった。

西村：空き家の課題解決に向け、古い家や田舎暮らしを望む方々の存在、インターネット等で見つける手段、住むことを目的とする集落保存の新たな応援団といった可能性が見えてきた。また、企業の社会貢献活動も大きな期待を感じる。菅沼へのCSR活動についてもう少しお話を。

中島：県の事業を通して、ネクスコ中日本さんの支援が始まった。活動財源と人的支援がありがたい。また、世界遺産を支援することが企業のイメージアップにもつながる。

西村：小林氏、藤原氏にもご意見を。小林氏はよく芽のうちに摘むという話をされるが。



【各保存会からの現状報告】



【有志による白川民謡の披露】



【有志による五箇山民謡の返礼】

小林：問題が大きくなってからでは解決が大変。解決しようとする3分の1が理解者、3分の1がどっちつかず、3分の1が反対者。リーダーの力が問われるところであるが、いかにどっちつかずを理解者にするか。私はやかましい存在であったが、住民の議論の場では表に出ず徹底して話し合いをさせた。そうやって創り上げた志は長く続く。話し合った記憶が継続につながる。

藤原：企業からの支援の話が出ていたが、妻籠では大成建設さんより景観保全と芸能継承への支援をいただいている。その他、信濃毎日新聞信毎賞の賞金や県の地域づくり支援も活用している。

西村：大成建設さんの自然・歴史環境基金は、顕彰会や守る会のような民間活動が通りやすい。私も審査員の一人なのでぜひ活用を。では、最後に各会長より一言。

和田：小林氏の「住民の絆で村は成り立っている」という話が心に残った。荻町住民はもとより、菅沼・相倉の3つの住民がもっともっと親しくなり、世界遺産を共に守っていきたい。

山崎：交流会がもてたことに感謝し、相倉も集落一丸となって保存に努めたい。また、行政の皆様にも引き続き一層のご支援をお願いしたい。

中島：菅沼は3つ中で最も小さな集落であり少子高齢化の村。だからこそ、集落以外の支援をうまく活かす工夫をしながら次の世代へつなげていきたい。

……………次回の開催は、相倉集落の予定です。 [以上文責:和田]

旧寺口家屋根雪おろし! ……

1月25日朝に、野谷合掌環境部長のもと、守る会委員有志で旧寺口家の屋根雪おろしを行いました。今年は雪がやや少なめとはいえ、旧寺口家は山裾の日陰であるためか、結構な量の雪が屋根に乗っていました。氷り固まった雪を除去し、しばらくは一安心です。春には、雪囲い撤去・障子の張り替え作業を予定しています。



荻町区役員決定! ……

12月の大寄合選挙において、平成26年の荻町区役員が決定しましたので、遅ればせながらご報告いたします。

荻町区長：和田 茂

同副区長：野村 昭吾

公民館委員長：黒木 徹

守る会会長：和田 正人

＝ 1月の活動報告 ＝

- 1月 1日 春駒・TV局取材
- 1月 7日 消防出初め式・TV局取材
- 1月 14日 ねそ1月号配付
- 1月 15日 荻町区新年会
- 1月 18日 荻町ライトアップ初日(7回開催予定)
- 1月 22日 1月定例会及び新年会
- 1月 23日 荻町集落TV取材(～28日)

※3月の定例会は、11日(火)を予定しています。

＝ 区民の皆様へ ＝

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は財団に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆様のご理解ご協力をお願いします。

守る会活動スローガン ～守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

☆1月の協議事項(現状変更申請に関わって)☆ 1月22日審議分

*****倉庫取り壊し車庫に建て替え(再審)

白川八幡宮……志納所の建築

☆2月の協議事項(現状変更申請に関わって)☆

*****庇取付、杉板張り、車庫増築

※別紙配付の『旧藤坂家の活用について』アイデア募集。活用と維持管理について区民の皆様のご意見をお寄せください。3月11日までに各組委員へ!!